Panasonic®

ステレオラジオカセットレコーダー
Stereo Radio Cassette Recorder

取扱説明書
Operating Instructions

品番　RQ-SX97F

このたびは、ステレオラジオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書付き（裏表紙）

上手に使って上手に節電

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年　月　日	品番	RQ-SX97F
販売店名	☎（　）　ー		

松下電器産業株式会社　AVCネットワーク事業グループ
〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号

RQTT0399-4S F0201KB4082

持込修理

Panasonic

パナソニック音響製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は裏面をご参照ください。

品番	RQ-SX97F
保証期間	お買い上げ日から **本体1年間**
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　様 電話（　）　ー
※販売店	住所・氏名 電話（　）　ー

松下電器産業株式会社
AVCネットワーク事業グループ
〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号　TEL (06) 6909-1021

ご販売店さまへ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

もくじ

本文中の⓭などの数字は、参照ページを示しています。

付属品

付属品の買い替えは、サービスルートでお買い求めいただけます。かっこ内の品番で、お買い上げの販売店へご注文ください。(充電式電池は市販品でお買い求めください。「別売り品のご紹介」㊴)

- ●**ステレオインサイドホン**(RFEV330P-KT)
- ●**リモコン**(ジョイントホン対応)
  (RFEV035P-SS)
- ●**キャリングケース**(RFC0056-K)
- ●**ワンポイントステレオマイク**(RFEM302P)

バッテリーチャージャースタンド
- ●**充電器**(RFEB117J-U)
- ●**スタンドホルダー**(RKQT0015A-A)

- ●**ニッケル水素充電式電池**
  充電式電池ケース(RFAT0001-H)から取り出してご使用下さい。
- ●**乾電池ケース**(RFAT0002-H)

安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

絵表示	内容
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上のご注意

本機について

⚠警告

分解・改造しない

- 機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。
- 点検や修理は、販売店へご依頼ください。

自動車やバイク、自転車などの運転中は、使用しない

- 周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因になります。
- 歩行中（特に、踏切や横断歩道）でも周囲の交通に十分注意してください。

⚠注意

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 夏の閉め切った自動車内や、直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

インサイドホンなど肌に直接触れる部分に異常を感じたら使用を中止する

- そのまま使用すると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

充電器について

⚠警告

ぬれた手で、プラグの抜き差しはしない

- 感電の原因になります。

コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 充電後は、プラグを抜いてください。

安全上のご注意

充電器について

⚠ 警告

プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

抜き差しは、アダプター本体を持つ

- コードを引っ張ると、コードが傷ついたり、ちぎれたりし、火災や感電の原因になることがあります。

充電は、交流（AC）100 V で使う

- 指定外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因になります。

電池について

⚠ 注意

電池は正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

電池は誤った使い方をしない

- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
  乾電池入りの乾電池ケースも同様です。
- **被覆のはがれた電池は使わない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

充電式電池について

⚠ 危険

専用の充電器で充電する

- 指定外の充電器で充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。
- 充電式電池も必ず指定のものをご使用ください。

はんだ付け、分解、改造したり、火の中へ投入、加熱はしない

- 電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

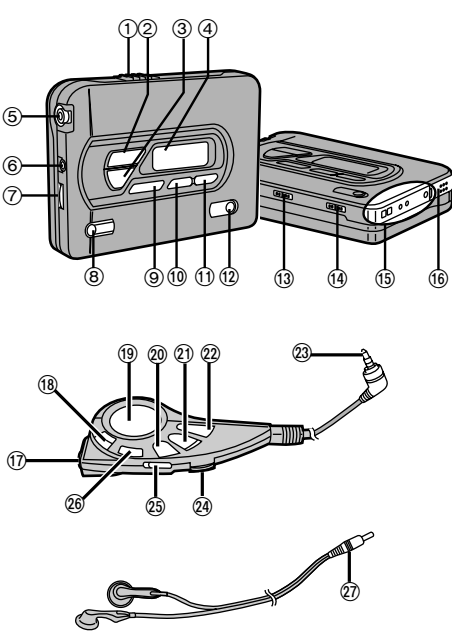
⚠ 警告

⊕と⊖をショートさせない

- 電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。
- ネックレスなどの金属物といっしょに携帯、保管する場合は、必ず付属の充電式電池ケースに入れてください。
- チューブをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。はがれたものは使わないでください。

各部のなまえ

⑲⑳㉑㉒ ㉓
⑱
⑰
㉖ ㉕ ㉔

㉗

■本体

① OPEN（カセットふた開）つまみ
② RADIO ON/BAND、⤾/ ⇌ 、1（ラジオ入／バンド切換、再生モード切換、メモリー）ボタン
③ TAPE /◀▶、X2 、2（再生／走行方向切換、録音スピード切換、メモリー）ボタン
④ 本体表示パネル
⑤ 🎧（ヘッドホン兼リモコン用）端子
⑥ MIC 端子
⑦ VOL（音量）つまみ
⑧ PRESET/TAPE MODE（ラジオ、テープ設定準備）ボタン
⑨ OFF/■/ 🔋 、BLANK CONTROL、3（停止／ラジオ切／電池残量表示、ブランクコントロール入・切、メモリー）ボタン
⑩ −/REW、 ▯▯NR、4（巻戻し／頭出し、戻る、ドルビーＢ NR入・切、メモリー）ボタン
⑪ ＋/ F F 、1 REP、5（早送り／頭出し、進む、1曲リピート入・切、メモリー）ボタン
⑫ ● REC、•REC PAUSE（録音、録音一時停止）つまみ
⑬ HOLD（本体用ホールド）つまみ
⑭ FM MODE/B. P. ST/Ⅰ、MONO/Ⅱ（FMモード切換／ビートプルーフ切換）つまみ
⑮ 充電器接続端子、乾電池ケース用接続端子・取付穴
⑯ 充電式電池ふた

■リモコン

⑰ インサイドホン用端子
⑱ REC（録音／録音一時停止）ボタン
⑲ リモコン表示パネル
⑳ ◀▶/■（再生、走行方向切換／ラジオ入・切、停止）ボタン
㉑ −（巻戻し、頭出し、戻る）ボタン
㉒ ＋（早送り、頭出し、進む）ボタン
㉓ プラグ
㉔ VOLUME（音量）つまみ
㉕ HOLD（リモコン用ホールド）つまみ
㉖ 🔋 、REC TIME-SOUND（録音時間カウンター表示、音質切換、電池残量表示）ボタン

■ステレオインサイドホン

㉗プラグ

リモコン表示パネルの照明について
【光るリモコン】
本体やリモコンのボタン操作時に、約５秒間明るくなり、暗い所で見るのに便利です。

●動作を変えずに表示の確認だけをするには
リモコンの[HOLD]つまみの位置を切り換えると約５秒間照明がつきます。

電源の準備

充電式電池、または単 3 形乾電池 1 個で使えます。

充電式電池で使う

1 充電器を組み立てる

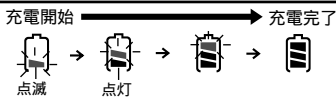
スタンドホルダー（付属）

充電器（付属）

この部分を内側に押さないでください。（組立てにくくなります）

2

ニッケル水素充電式電池（付属）

❶ ❷ ❸

3 本体の電源を切り、充電器に差し込む

充電器接続端子側（「各部のなまえ」（❽、❾）を充電器に差し込んでください。

4 充電する

購入直後も充電が必要

お知らせ

- 本体に充電式電池が入っていないと、充電できません。
- 充電器に差し込んでいる間は、本体は動作しません。（リモコンが点灯することがありますが、動作しません。）

AC100V、50/60 Hz

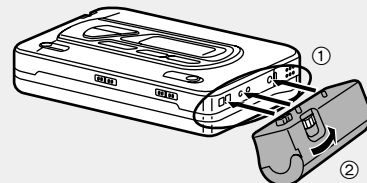
5

充電開始 → 充電完了

点滅 → 点灯

お知らせ

電池残量（⓬）によって充電開始状態は異なります。

乾電池で使う

■付属のバッテリーチャージャースタンドは

- 本機（RQ-SX97F）以外には使用しないでください。
- 必ず充電器とスタンドホルダーを組み立ててご使用ください。

充電時間と充電式電池の寿命

■充電時間と再生・受信・録音時間

充電式電池でフル充電（約 5 時間）のとき

テープ再生	ラジオ受信	マイク録音	ラジオ録音
約 32 時間	約 28 時間	約 11 時間	約 9 時間 30 分

使用条件によっては短くなることがあります。

■充電しても接続時間が極端に短いときは

充電式電池の寿命です。

（充電可能回数は約 300 回です）

■継ぎ足し充電できます

パナソニックの充電式電池は電池残量を使い切らなくても、継ぎ足し充電が可能です。

■充電式電池の買い替えは

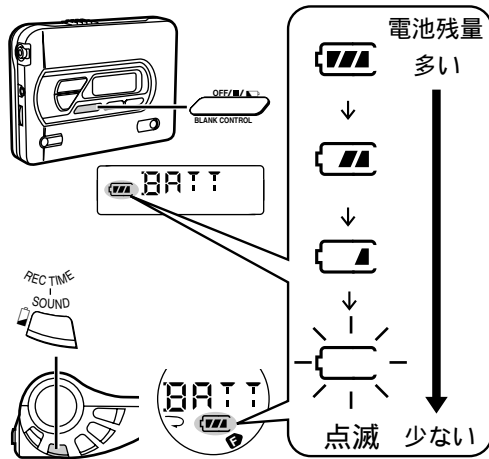
「別売り品のご紹介」（㊴）をご覧ください。

長時間のご使用のために

- 充電式電池と乾電池の併用をおすすめします。
- パナソニックアルカリ乾電池を使うと、より長時間楽しめます。

電源の準備

電池残量表示について

- **本体・リモコン共、表示パネルで確認できます。**
  (動作中は常に表示)
- **ホールド中(⑬)でも電池残量は確認できます。**

極端に低温の場所での使用や、早送り・巻戻し中は一時的に低く表示されたり、点灯していても正しく動作しないことがあります。

■電池残量表示が点滅したら

充電するか、乾電池を交換してください。
- 充電時間が短いと、全点灯から点滅までが早くなります。
- 点滅後、電池が切れるまでの時間(めやす)
  充電式電池時…約5分、乾電池と併用時…約30分

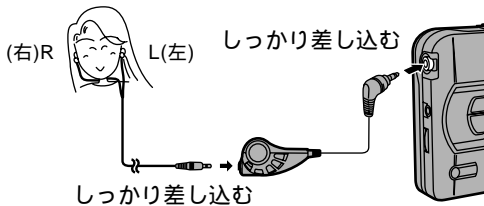
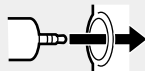
■記憶させた設定(放送局など)を消さないために

- 表示が点滅中に充電式電池を充電、または乾電池を交換してください。
- 乾電池を交換するときは、3分以内に行ってください。

リモコンの操作受付音について

- **リモコンのボタンを押すと**
「ピ」、「ピー」のような音で、動作を確認することができます。
- **リモコンのボタンを押して「ピ、ピピピ…」と鳴るとき**
テープが入っていません。

リモコン、インサイドホンの接続

プラグタイプ：
ステレオミニ
(M3)

注 **プラグはグッ!と奥まで**

差し込みがゆるいと、音が鳴ってもリモコン操作ができません。

ホールド機能について

誤ってボタンを押してもボタン操作を受け付けないようにする機能です。
(本体とリモコンは別々にホールドになります。)
次のようなことを防ぎます。
- 知らない間に電源が入る。(電池の消耗)
- 使用中に再生・ラジオ受信・録音が中断する。

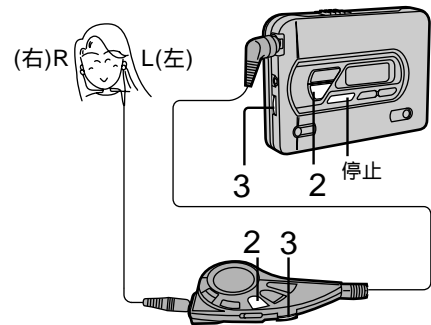
ホールドにすると
本体表示パネル：" "が点灯します。
リモコン表示パネル：" "(本体ホールド時)、" "(リモコンホールド時)が点灯します。
ホールド中にボタンを押すと
"HOLD"(本体)"Hold"(リモコン)が約3秒間点滅します。

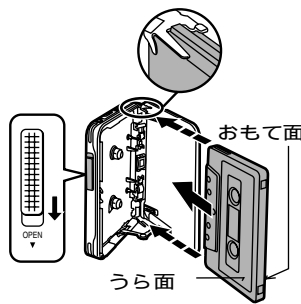
テープを聞く

はじめに
●リモコン、インサイドホンを接続 ⑬　●ホールド状態を解除 ⑬

■正しく再生できるテープ

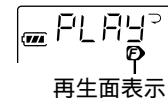
NORMAL POSITION /TYPE Ⅰ	○
HIGH POSITION /TYPE Ⅱ	○
METAL POSITION /TYPE Ⅳ	○

テープの種類は自動的に判別します。

■ 再生を停止するには
[OFF/■/ 、BLANK CONTROL]（本体）または[◀▶/■]（リモコン）をポンと押す

1 テープを入れる

ふたの開閉後は、テープのたるみが巻き取られ、再生方向がおもて面にセットされます。

パネル表示
本体　：おもて面 F
　　　　：うら面 R
リモコン：おもて面 F
　　　　：うら面 R

2 再生する

本体で

ポンと押す

再生面表示

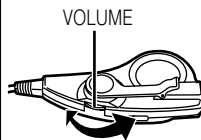
リモコンで

ポンと押す

再生面表示

3 音量を調節する

目もり

本体の[VOL]を目もり 5-7 程度に！

いろいろなテープ操作

	早送り・巻戻し	曲の頭出し（TPS）*1【前後 9 曲さるとびサーチ】
本体で	**停止中にポンと押す** ●テープ終端で自動停止します 戻る −/REW 4 ◻◻NR	**再生中にポンポンと押す** 進む +/FF 5 1 REP ●曲数の変更をするには 頭出し中に押す
リモコンで	**停止中にポンと押す** 戻る ●テープ終端で自動停止します	**再生中にポンポンと押す** 進む ●曲数の変更をするには 頭出し中に押す

再生へ切り換えるときは：[TAPE/◀▶、X2]（本体）または[◀▶/■]（リモコン）を押す。

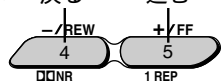
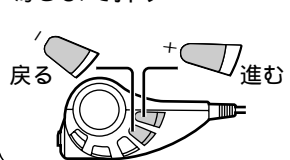
*1 **頭出し、1 曲リピート時のお知らせ**
●これらは曲間の約 3 秒間の無音部を検出する機能です。そのため、次のような場合には正しく動作しないことがあります。
・曲間が短い・曲間に雑音がある・曲中に無音に近い部分がある
●頭出しはテープ終端で反転して動作を続けますが、終端を 3 回検出すると自動停止します。

いろいろなテープ操作

本体で / リモコンで

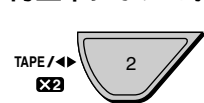
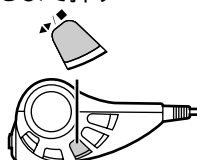
1 フレーズサーチ*2

本体で: 再生中に「ピ・ピ」と鳴るまで押す 戻る 進む

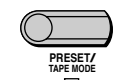
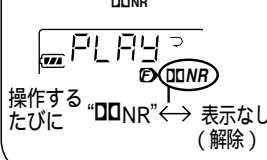
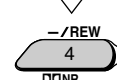
−/REW 4 ／ +/FF 5 ／ DDNR ／ 1 REP

リモコンで: 再生中に「ピ・ピ」と鳴るまで押す

反対面を聞く（テープの走行方向切換）

本体で: 再生中にポンと押す

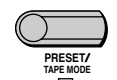
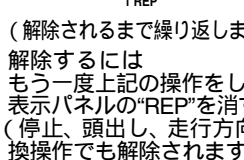
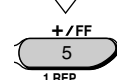
リモコンで: 再生中に「ピ、ピ・・・」と鳴るまで押す

本体操作のみ

ドルビー B NR*3 録音のテープを聞く

停止中、再生中に押してから

操作するたびに "DDNR" ↔ 表示なし（解除）

今の曲を繰り返す【1 曲リピート】

再生中に押してから

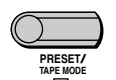
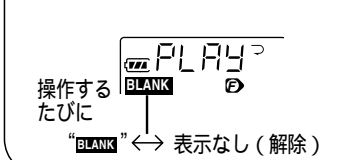
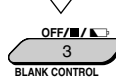
（解除されるまで繰り返します）

解除するには
もう一度上記の操作をして、表示パネルの"REP"を消す。（停止、頭出し、走行方向切換操作でも解除されます）

曲間のノイズを減らし、テープの余白を早送り【ブランクコントロール*4】

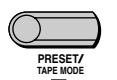
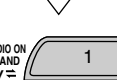
停止中、再生中に押してから

PRESET/ TAPE MODE

押す OFF/■/ 3 BLANK CONTROL

PLAY BLANK

操作するたびに "BLANK" ↔ 表示なし（解除）

再生モードの切換

停止中、再生中に押してから

⇌：片面のみ再生
⊃：おもて面→うら面再生後自動停止

***2 1 フレーズサーチとは**
約 10 秒間だけのサーチ機能です。約 10 秒前に戻ったり、約 10 秒経過後を再生することができます。（サーチ時間はテープの長さによって異なります。）

***3 ドルビー B NR とは**
「サー」というテープ特有のノイズを減らす機能です。ドルビー B NR で録音されたテープを本機で再生するとノイズを約 1/3 にして聞くことができます。
・ドルビー NR とだけ記載されている場合はドルビー B タイプです。

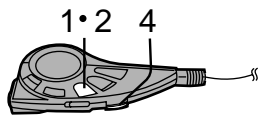
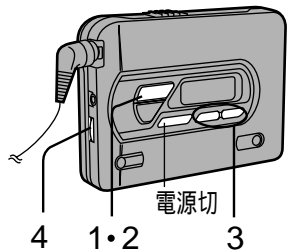
***4 ブランクコントロール**
再生中に無音部（曲間など）を検知すると、自動的に再生レベルを下げ、「サー」というテープ特有のノイズを減らします。また約 13 秒以上の無音が続くと、ピピと鳴って次の曲まで早送りします。（テープ終端まで曲がなければ反対面を始めから再生）

● **テープの終端近くから再生を始める場合**
働かないことがあります。そのときは[FF]を押してください。

● **小さい音が約 13 秒以上続く（クラシック音楽など）場合**
早送りされることがあります。ブランクコントロールを解除してお使いください。

ラジオを聞く

はじめに
- リモコン、インサイドホンを接続 ⓭
- ホールド状態を解除 ⓭

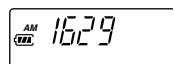
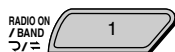
AM、TV の音声はモノラルです。

■ 電源を切るには

[OFF/■/ ▭ 、BLANK CONTROL]（本体）を押すか[◀▶/■](リモコン)を 1 秒以上押す

本体で

1 電源を入れる

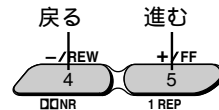
ポンと押す

AM 1629

2 バンドを切り換える

ポンと押す

押すたびに AM → FM → TV1～12 ch

3 選局する

ポンポンと押す

戻る　進む
−/REW 4　+/FF 5
⊡NR　1 REP

[−/REW、⊡NR]、[+/FF、1REP]を押し続けると周波数表示が速く動き、リモコン表示パネルに“Auto”が表示されます。

4 音量を調節する

目もり

リモコンで

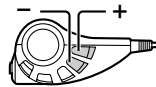
1 秒以上押す

1629

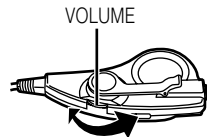
ポンと押す

押すたびに AM → FM → TV1～12 ch

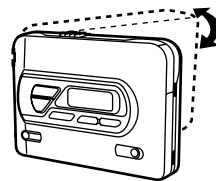
①ご使用になる地域に合わせて、好みの放送局を記憶する。(⓴)

②[+]、[−]を押し、記憶させた放送局を選局する

− +

本体の[VOL]を目もり 5-7 程度の位置にしておく

VOLUME

アンテナの調整

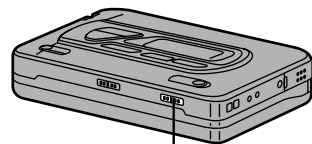
AM 放送

本体の向きを調整する。(内蔵のフェライトアンテナが働きます)

FM、TV 放送

インサイドホンコードを束ねずに、できるだけ伸ばす。(インサイドホンコードがアンテナとして働きます)

乗物や建物の中では
電波が弱まり聞こえにくくなることがあります。できるだけ窓際でお聞きください。

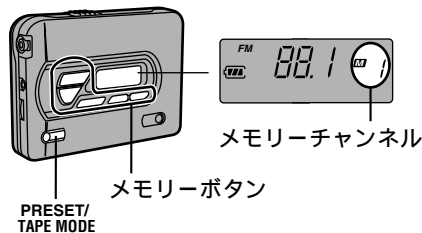
ラジオ機能を使いこなす

FM 放送のステレオ／モノラル切換（FM モード切換）

■ステレオで受信中に雑音が多いとき

モノラル音声にすると、雑音が減って聞きやすくなります。
通常はステレオ音声でお聞きください。

好みの放送局を記憶させる

（AM/FM/TV 各 10 局まで）

1 記憶させたい放送局を受信する
2 [PRESET/TAPE MODE]を押し、“M”を点滅させる
3 点滅している間にメモリーボタン（[1]、[2]、[3]、[4]、[5]下記参照）を約 1 秒以上押し続ける
（ピ、ピ、ピと鳴って記憶されます）

■他の放送局を記憶させるには

手順 1-3 を繰り返す。

■ 6 〜 10 のメモリーチャンネルに記憶するには

1 [PRESET/TAPE MODE]をポンポンと続けて 2 回押し、“M”と“+5”を点滅させる
2 点滅している間にメモリーボタン（[1]、[2]、[3]、[4]、[5]）を約 1 秒以上押し続ける

例）メモリーチャンネル 7 に記憶させたいとき
手順 1 →メモリーボタン[2]

■記憶した放送局を聞くには

1 [PRESET/TAPE MODE]を押し、“M”を点滅させる
2 点滅している間に設定したメモリーボタンをポンと押す

■ 6 〜 10 のメモリーチャンネルを聞くには

1 [PRESET/TAPE MODE]をポンポンと 2 回押し、“M”と“+5”を点滅させる
2 点滅している間にメモリーボタン（[1]、[2]、[3]、[4]、[5]）をポンと押す

海外で受信するには

ラジオの電源を入れた後、次の操作で AM のステップを切り換えます。

1 [RADIO ON/BAND, ⊃ /⇌]を 5 秒以上押す。
“ J ” などのステップを表示。
2 ステップ表示中に[−/REW、ᗡᗞNR]、[+/FF、1 REP]を押し、地域に合わせてステップを選ぶ。

地域	ステップ（表示）
日本国内	国内専用　（J）
東南アジア、ヨーロッパ	9kHz　（E）
北米、中南米、東南アジアの一部	10kHz　（U）

3 ステップ表示中に[PRESET/TAPE MODE]をピピピと鳴るまで押す。

● ステップを切り換えると記憶させた放送局は消えます。

海外ステップ（E ： Europe, U ： U. S. A.）のとき

● TV 受信ができません。
● 受信周波数帯域が変わります。

ラジオ

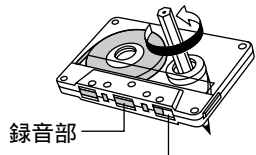
録音の前に

■正しく録音できるテープ

NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ	○
HIGH POSITION /TYPE Ⅱ	×
METAL POSITION /TYPE Ⅳ	×

本機でハイポジション、メタルポジションテープを使っても、正しく録音・消去はできません。

■テープの始めから録音するとき

あらかじめ、テープの端にあるリーダーテープ部を送り出しておきます。

■テープの途中から録音するとき

テープをおもて面再生して聞き、録音を始める位置で止めておく。

■ 2 倍録音について

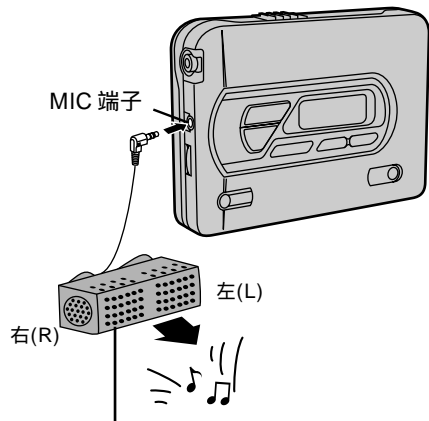
テープの録音時間を 2 倍にして録音することができます。（60 分テープで両面 120 分の録音が可能です。）

- よりよい音で録音したいときは、通常録音（“ X2 ”表示なし）で録音されることをおすすめします。
- 2 倍録音したテープは、本機の“ X2 ”で再生するか、同じ機能のついたテープレコーダーで再生してください。
- 通常録音されたテープを再生するときは、“ X2 ”の表示を消して再生してください。

■誤動作防止のため、録音中は作動しないボタン

本体：
[TAPE/◀▶、X2]
[RADIO ON/BAND、⊃/⇌]
[＋/FF、1 REP] [−/REW、DD NR]
[PRESET/TAPE MODE]
リモコン：[−] [＋]

> あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ワンポイントステレオマイク（付属）の接続

ワンポイントステレオマイク（付属）

プラグタイプ：ステレオミニ（M3）

■ワンポイントステレオマイク（付属）について

- 録音中に抜き差ししないでください。
  雑音が録音されたり、音量が下がることがあります。
- ステレオインサイドホンを近づけすぎないでください。
  ハウリング（ピーという音）が起こります。このようなときは、マイクから離すか、音量つまみを調節してください。

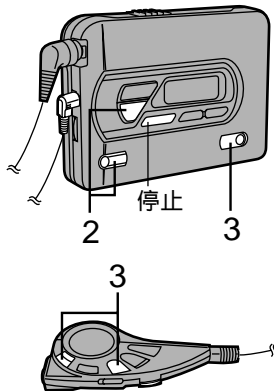
お知らせ

- 録音レベルは自動的に設定されています。録音中に音量を変えても録音されるテープには影響しません。
- 録音中に、本機とテレビを近づけると、テレビから出る電波の影響で雑音が録音されることがあります。
- 電池の消耗による録音時のトラブルを防ぐため、フル充電した充電式電池か、新しい乾電池のご使用をおすすめします。

録音する

ドルビー機能は働きません。
（表示パネル上に DDNR が表示されていても働きません。）

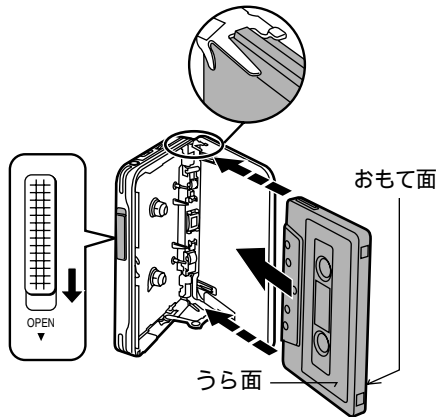
ワンポイントステレオマイクで録音

録音の準備
1.リモコンを接続 ⓭
2.ホールド状態を解除 ⓭
3.マイクを接続 ㉓

■ 録音を止めるには

[OFF/■/ 、BLANK CONTROL]（本体）を押すか[◀▶/■]（リモコン）を押す

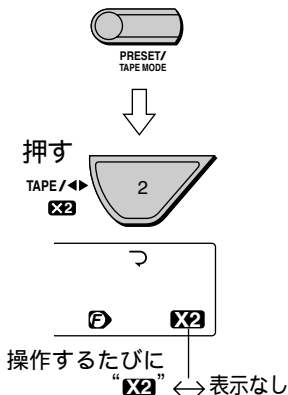
本体操作のみ

1 テープを入れる

入れる前に、テープにつめ（㉚）があるか確認！
（ないと録音できません）

ふたの開閉後はテープのたるみが巻き取られ、おもて面に録音されるようにセットされます。

2 録音スピードを選ぶ

押してから

操作するたびに
“X2” ⟷ 表示なし

“X2”を選ぶとテープの録音時間を 2 倍にして録音することができます。（「2 倍録音について」㉒）

3 録音する

ラジオ放送の録音時は
“ MIC ”の代わりに周波数を表示します。

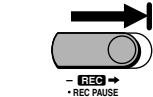
本体で

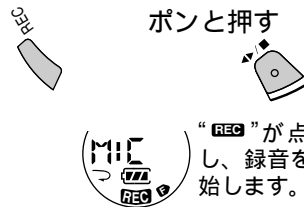
矢印の方向にスライドさせ、“MIC”が表示されるまでそのままにしておく

“ REC ”が点灯し、録音を開始します。

リモコンで

押しながら

REC

“MIC”が表示されたのを確認してから
ポンと押す

MIC
REC

“ REC ”が点灯し、録音を開始します。

おもて面の録音が終わると

再生モードが ⊃ のとき：
引き続き裏面の録音を開始します。

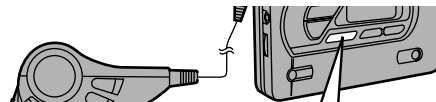
再生モードが ⇄ のとき：
テープ終端で停止します。

録音

録音する

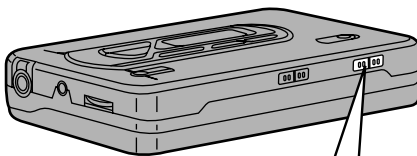
ラジオ放送の録音

1 録音スピードを選ぶ。（㉕、手順 2）
2 選局する。（⑱ ～ ⑲、手順 1 ～ 4）
3 ㉔ ～ ㉕ の手順 1、3 を行う。
※マイクを接続する必要はありません。

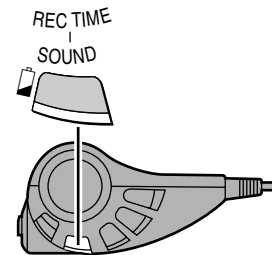
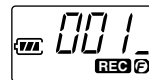
■停止させるには

録音を停止する **ポンと押す**

電源を切る

録音停止後 **本体： ポンと押す**
リモコン：ピ、ピーと鳴るまで押す

AM 放送録音時に雑音（ピーという音）が多いとき
（ビートプルーフ）

FM MODE/B.P. ST/I MONO/II

雑音が少なくなる位置に切り換える

録音の便利な機能

0 ～ 239 まで 1 分単位で表示します。
（239 分を超えると“ ---- ”になります）

押すたびに

カウンター表示 （録音時間を表示）
↓
マイク録音表示 （“ MIC ”と表示）
または
ラジオ放送録音表示 （周波数を表示）

- 録音一時停止中（次ページ）でも確認できます。
  （カウントはされません）
- 録音停止のあと再び録音を始めると、前に録音したときの録音時間が記憶されています。
  （テープを入れ直すと自動的に“ 000 ”から始めます）

■カウンターを“ 000 ”に戻すには

（左図と同じボタンを）**録音中にピ、ピと鳴るまで押す。**

録音を一時停止する

本体で

録音中に矢印の方向にスライドさせる

- REC →
• REC PAUSE

点滅

リモコンで

録音中にポンと押す

点滅

録音中の音を聞く（モニター）

本体で

(右)R L(左)

ステレオインサイドホンで聞く

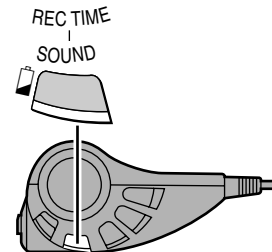
音量つまみで音量を調節できます。
（録音には影響ありません）

■録音を再び始めるには
もう一度上記の操作を繰り返す。

音質を変えて楽しむ

はじめに
ホールド状態を解除 ⑬

リモコン操作のみ

再生・受信中にポンと押す

押すたびに

“　　”（解除）：　普通の音質で聞く。
↓
“S-XBS”：　迫力ある重低音で聞く。
●音がひずむときは音量を下げてください。
↓
“TRAIN”【電車ポジション】：　音もれゾーンの高音域だけをおさえる。

- 録音中は音質を変えられません。
［パネル上で“S-XBS”、“TRAIN”になっていても解除の状態（表示なし）で録音されます。］

使用上のお願い

機器の故障防止のために

- 強い衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。
- 水、砂、ほこりの付近ではカセットふたを開けないでください。
- 風呂場など湿気の多い所、倉庫などほこりの多い所で使わないでください。
- 雨にぬらさないでください。

ステレオインサイドホンについて

- 周囲の人への迷惑にならない適度な音量でお楽しみください。
- 本体にコードを巻き付けるときは、たるみを持たせてゆるく巻いてください。

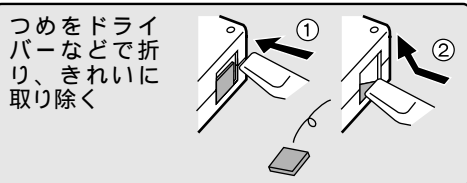
使用テープについて

■ 100 分を超えるテープ

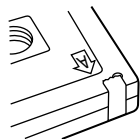
テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しなどを繰り返さないでください。(回転部分に巻き込まれることがあります)

■エンドレステープはオートリバース対応のものを

使用方法を誤ると、テープが回転部分に巻き込まれます。必ずテープについている使用説明書をお読みください。

■録音したテープを誤って消さないために

折れ残りがあると
テープが本体から取り出せないことがあります。

●もう一度録音するには

セロハンテープなどを貼ってください。

充電式電池と充電器について

- 寿命が短くなるので、12 時間以上充電しないでください。
- 放送に雑音が入ることがあるので、使用中のラジオの近くで充電しないでください。
- 充電中は、熱を持ちますが、異常ではありません。

ニッケル水素充電式電池とニカド充電式電池について

使用後は、貴重な資源を守るためにリサイクルへ！

使用済み電池の届け先：

- お買い上げの販売店、または最寄りの松下電器の販売店・サービスセンター・販売会社へ
- もしくは、(社) 電池工業会へご確認ください。(ホームページ：http://www.baj.or.jp)

ニッケル水素電池／ニカド電池使用

お手入れ

本体が汚れたら

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

よい音でお楽しみいただくために

定期的に市販のクリーニングテープを使って、ヘッド部を清掃されることをおすすめします。

故障かな!?（アレ!?と思ったらまず確認を!!）

まず、この表でご確認ください。直らないときはお買い上げの販売店へご連絡ください。

こんなときは	ここをチェック	これで OK!
動かない。	充電式電池の充電は？	購入直後や長期間使わなかった後も充電。
動かない。	乾電池が消耗？	乾電池を交換。
動かない。／リモコンが正常に操作できない。	HOLD（ホールド）状態になっている？	解除。⓭
リモコンが正常に操作できない。	付属以外のリモコン？	付属品を使う。
リモコンが正常に操作できない。／聞こえない。ジャリッ!と音がする。	インサイドホン、リモコンプラグの接続は？	しっかり差し込む。
聞こえない。ジャリッ!と音がする。	プラグの汚れ？	きれいにふく。
再生スピードが速い、遅い。	録音時の録音スピードは？	録音時の録音スピード（通常または“x2”）に合わせて再生。㉒㉕

こんなときは	ここをチェック	これで OK!
雑音が入る。	携帯電話と本機を近づけて使用？	携帯電話から本機を離す。
充電しても通常の持続時間より短い。／充電しても充電表示が出ない。	長期間使わなかった充電式電池？	何回か使うと通常に戻ります。
充電しても通常の持続時間より短い。／充電しても充電表示が出ない。	電池が寿命？(300回の充電が目安)	充電式電池を交換。
充電しても充電表示が出ない。	充電端子の汚れ？ほこり？	充電端子をきれいに拭く。
受信できない。／TV が聞けない。	周波数ステップが、海外向け？	ステップの切換。㉑
ふたが閉じない。	つめの状態が下図のⒶ？	「OPEN」をずらしⒷの状態に。

Ⓐ → Ⓑ（つめ）

ご参考

保証とアフターサービス　よくお読み下さい

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品でお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（裏表紙をご覧ください）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■補修用性能部品の保有期間
当社はステレオラジオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後 6 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき
32-33 ページの「故障かな!?」の表に従ってご確認のあと、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料　は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代　は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料　は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
品名	ステレオラジオカセットレコーダー	お買い上げ日	
品番	RQ-SX97F	故障の状況	

お取り扱い・お手入れなどのご相談
ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは 365日）
FAX　フリーダイヤル　0120-878-236
365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

修理に関するご相談
ナショナル／パナソニック
修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号）
0570-087-087
- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区			
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	帯広	帯広市西19条南1丁目7-11 ☎ (0155)33-8477
旭川	旭川市2条通21丁目左1号 ☎ (0166)31-6151	函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎ (0138)48-6631

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

東北地区

- **青森** 青森市大字八ッ役字矢作1-37 ☎(017)739-9712
- **秋田** 秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600
- **岩手** 盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120
- **宮城** 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
- **山形** 山形市流通センター3丁目12-2 ☎(023)641-8100
- **福島** 福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎(0243)34-1301

首都圏地区

- **栃木** 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555
- **群馬** 高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109
- **水戸** 水戸市柳河町309-2 ☎(029)225-0249
- **つくば** つくば市花畑2丁目8-1 ☎(0298)64-8756
- **埼玉** 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960
- **千葉** 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6034
- **東京** 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
- **山梨** 甲府市下飯田2丁目1-27 ☎(055)222-5171
- **神奈川** 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
- **新潟** 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-7725

中部地区

- **石川** 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683
- **富山** 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705
- **福井** 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606
- **長野** 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)58-0073
- **静岡** 静岡市西島765 ☎(054)287-9000
- **名古屋** 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225
- **岡崎** 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719
- **岐阜** 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010
- **高山** 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
- **三重** 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

近畿地区

- **滋賀** 守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021
- **京都** 京都市南区上鳥羽石橋町20-1 ☎(075)672-9636
- **大阪** 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225
- **奈良** 大和郡山市椎木町404-2 ☎(0743)59-2770
- **和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
- **兵庫** 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

中国地区

- **鳥取** 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695
- **米子** 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129
- **松江** 松江市西津田2丁目10-19 ☎(0852)23-1128
- **出雲** 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133
- **浜田** 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629
- **岡山** 岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎(086)292-1162
- **広島** 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
- **山口** 山口市鋳銭司 字鋳銭司団地北447-23 ☎(0839)86-4050

四国地区

- **香川** 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477
- **徳島** 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125
- **高知** 南国市岡豊町中島331-1 ☎(088)866-3142
- **愛媛** 松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144

九州地区

- **福岡** 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036
- **佐賀** 佐賀市本庄町大字本庄896-2 ☎(0952)26-9151
- **長崎** 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658
- **大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815
- **宮崎** 宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2 ☎(0985)85-6530
- **熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
- **天草** 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
- **鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
- **大島** 名瀬市矢之脇町10-5 ☎(0997)53-5101

沖縄地区

- **沖縄** 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0101

主な仕様

受信周波数：

ステップ	AM	FM	TV
国内専用	522-1629 kHz	76.0-90.0 MHz	1-12 ch
9 kHz	522-1629 kHz	87.5-108.0 MHz	—
10 kHz	520-1710 kHz	87.5-108.0 MHz	—

トラック方式：ステレオ
録音方式：交流バイアス
消去方式：直流消去
モニター方式：バリアブルサウンドモニター方式
周波数範囲（EIAJ）
再生：40-18000 Hz（ノーマル／ハイ／メタルポジション）
録音：80-8000 Hz（ノーマルポジション）
出力端子：ヘッドホン；80 Ω（M3 ジャック）
入力端子：マイク；0.56 mV（200-600 Ω）
（M3 ジャック、プラグインパワータイプ）
実用最大出力：1.8 mW＋1.8 mW（EIAJ）
電源
充電式電池：DC 1.2 V（専用充電式電池）
乾電池：DC 1.5 V（単3形乾電池×1個）
寸法
最大外形寸法：110.0（W）× 79.4（H）× 23.0（D）mm（EIAJ）
本体寸法：108.8（W）× 77.2（H）× 20.7（D）mm
質量：約 169 g（充電式電池含む）

充電器：入力；AC 100 V、50/60 Hz、5 VA
出力；DC 1.2 V、350 mA
電池持続時間（EIAJ）：

使用電池	テープ再生	ラジオ受信	マイク録音	ラジオ録音
充電式電池*	約 32 時間	約 28 時間	約 11 時間	約 9 時間 30分
ナショナルネオ《黒》乾電池（R6PU）	約 25 時間	約 23 時間 30分	約 5 時間	約 4 時間 30分
パナソニックアルカリ乾電池(LR6)	約 55 時間	約 47 時間	約 19 時間	約 16 時間
充電式電池*とナショナルネオ《黒》乾電池（R6PU）併用	約 57 時間	約 51 時間 30分	約 16 時間	約 14 時間
充電式電池*とパナソニックアルカリ乾電池（LR6）併用	約 87 時間	約 75 時間	約 29 時間 30分	約 25 時間 30分

*付属充電式電池フル充電時
- 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

別売り品のご紹介

別売り品の品番は、2001 年 2 月現在です。

■充電式電池の買い替えは
①ニッケル水素充電式電池
- HHF-1PSC/1B

②ニカド充電式電池
- RP-BP61
- P-1FPS/1B

■ジョイントホンの買い替えは
①インサイドホン
- RP-HJ237（レギュラーサイズ）
- RP-HJ335（新ぴったりホン）
- RP-HJ333（スモールサイズ）

②ヘッドホン
- RP-HZ60（折りたたみ式）
- RP-HT940（VMSS 機能付き）

③クリップヘッドホン
- RP-HZ70
- RP-HZ50

■マイクロホンの買い替えは
- RP-VC200（プラグインパワー方式）
- RP-VC300

■より大きく、良い音で聞く
ステレオミニスピーカーを本体の[ ]端子に接続します。
- RP-SP15/RP-SP18

Operating Instructions

Stereo Radio Cassette Recorder

RQ-SX97F

The numbers - ⓫ - refer to page numbers.

Connecting the stereo earphones and the remote control

(See ⓭.)

Using the hold function

(See ⓭.)

This function prevents the unit from operating when a button is pressed in error.
Use this function to prevent the following situations:
A. While not in use, playback or radio reception starts inadvertently and the battery runs out.
B. Playback, radio reception or recording is interrupted while the unit is in use.
Both the main unit and the remote control have this function, but each works independently.
To use this function, set [HOLD] to the on position (hold mode).
Before using the buttons, be sure to set [HOLD] to the off position.

Power Sources

(See ⑩-⑫.)

Tape Operation

■Listening to a tape

(See ⑭-⑮.)

■To change tape direction

From the main unit, press [TAPE/◀▶, X2] during playback.
From the remote control, press and hold [◀▶/■] during playback.

■Fast forward and rewind

From the main unit, press [+/FF, 1 REP] (fast forward) or [−/REW, DD NR] (rewind) in the stop mode.
From the remote control, press [+] (fast forward) or [−] (rewind) in the stop mode.

■Finding the start of the song

You can skip songs (up to 9) each time the button is pressed.
From the main unit, press [+/FF, 1 REP] or [−/REW, DDNR] during playback.
From the remote control, press [+] (fast forward) or [−] (rewind) during playback.

■To listen to a tape recorded with Dolby B NR

(from the main unit only)
Press [PRESET/TAPE MODE] and then press [−/REW, DDNR] during playback to display "DDNR".
Manufactured under license from Dolby Laboratories. "Dolby" and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

■Quick skip

Skip about 10 seconds, backward and forward.
From the main unit, press and hold [+/FF, 1 REP] or [−/REW, DDNR] during playback.
From the remote control, press and hold [+] (forward) or [−] (backward) during playback.

■Selecting reverse mode

(from the main unit only)
Press [PRESET/TAPE MODE] and then press [RADIO ON/BAND, ⊃/ ⇌]. Each time this operation is repeated, the display changes as follows.
" ⊃"⟷" ⇌"
⊃: Both the forward and the reverse sides are played once.
⇌ : One side is played.

■Blank control function

(from the main unit only)
Press [PRESET/TAPE MODE] and then press [OFF/■/ ▭, BLANK CONTROL] to display "BLANK".
Reduces the noise between tracks and when a silence of more than 13 seconds is detected during playback, the tape fast forwards until the next song is found. To cancel, do the same as above.

■Repeating a song (One-repeat function)

(from the main unit only)
Press [PRESET/TAPE MODE] and then press [+/FF, 1 REP] during playback to display "REP". To cancel, do the same as above.

Radio Operation

■Listening to the radio

(See ⑱-⑲.)

■To obtain better reception

AM:Try various directions to obtain optimum reception.
FM:Extend the earphone cord.

Selecting FM monaural (See ⑳.)
Set [FM MODE/B.P.] to [MONO].
This will reduce noise and provide clear reception, but the broadcast will not be heard in stereo.

■Presetting stations

You can store each station separately as follows. (Total: 30 stations)
AM 1-10
FM 1-10
TV 1-10

1. Tune in the desired station.
2. Press [PRESET/TAPE MODE] and then press and hold one of memory buttons ([1], [2], [3], [4], [5]).
   Three beeps can be heard.

To select a memory channel from 6 to 10
Press [PRESET/TAPE MODE] twice and then press and hold one of memory buttons ([1], [2], [3], [4], [5]).

To recall a preset station
Press [PRESET/TAPE MODE] and then press one of memory buttons ([1], [2], [3], [4], [5]). To select 6 to 10, press [PRESET/TAPE MODE] twice and then press one of memory buttons ([1], [2], [3], [4], [5]).
From remote control, press [+] or [−] to change in sequence.

■For overseas use

Select the allocation setting according to your area.

1. Press [RADIO ON/BAND, ⊃/ ⇌] to power on.
2. Press and hold [RADIO ON/BAND, ⊃/ ⇌] for more than 5 seconds.
3. While the setting like "J" is displayed, press [+/FF, 1 REP] or [−/REW, DDNR] to select the allocation setting. (See ㉑.)
   •J : for Japan
   •E : for Europe, etc.
   •U : for U.S.A, etc.
4. While the setting is displayed, press [PRESET/TAPE MODE] for more than 5 seconds.

Changing allocation settings erases the stations stored in the memory.

Recording

■Recording from the stereo microphone

(See pages ㉔-㉕.)
⊃: Both sides record (Forward→Reverse)
⇌ : One side only records.

Tape mode
" X2 ":Long play (Doubles the recording time, e. g., 120 min. on a 60 min. tape.)
" " (no display):Normal recording
Use the same mode when playing the tape.

■Recording from the radio

1. Press [PRESET/TAPE MODE] and then press [TAPE/◀▶, X2] to select the tape mode.
2. Tune in the desired station.
   (See steps 1-4 of pages ⑱-⑲.)
3. Open the cassette compartment and insert the cassette.
4. (Main unit)
   Slide and hold [REC, REC PAUSE]
   (Remote control)
   While pressing and holding [REC], press [◀▶/■].

To stop the recording, press [OFF/■/ ▭, BLANK CONTROL] on the main unit or [◀▶/■] on the remote control.
To turn off the radio, press [OFF/■/ ▭, BLANK CONTROL] on the main unit or press and hold [◀▶/■] on the remote control.

Beat proof function (See ㉖.)
When an AM broadcast is recorded, [FM MODE/B.P.] can be used to reduce unwanted "beat" signals (whistle) which are sometimes present.
Set the selector to whichever position best reduces these "beat" signals.

ご参考

Operating Instructions

■Record time counter

(from remote control only)

Press [🂠 , REC TIME-SOUND] during recording.
Displayed in 1 minute units from 0 to 239.
To change the display, press [🂠 , REC TIME-SOUND].
Alternately displays the counter and either"MIC", when recording with the microphone, or the frequency of the station being recorded.
To reset the counter, press and hold [🂠 , REC TIME-SOUND].

■To temporarily stop the recording

From the main unit, slide [REC, REC PAUSE] during recording.
From the remote control, press [REC] during recording.
To resume the recording, do the same as above.

■Monitoring

The sound being recorded can be monitored through the stereo earphones.
The volume adjustment can be done using the volume control.

Changing the Tone

(from remote control only)

Press [🂠 , REC TIME-SOUND] during playback or radio reception.

"　"(no display)	: Normal sound.
"S-XBS"	: This will boost the low frequency range.
"TRAIN"	: This lessens high sounds that tend to disturb the people around you when riding the train.

Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. AVC Network Business Group
1-4 Matsuo-cho, Kadoma City, Osaka, Japan 571-8505

＜無料修理規定＞

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
　（イ）無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
　（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くのご相談窓口にご連絡ください。
2．ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にご相談ください。
3．ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くのご相談窓口へご連絡ください。
4．保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
　（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　（ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
　（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
　（ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
　（ホ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
　（ヘ）本書のご添付がない場合
　（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7．お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.